

## 兵庫県立芸術文化センター Hyogo Performing Arts Center

～世界に開かれ地域に愛される劇場～

### 1 コンセプト「日本一のお客様に支えられ、お客様とともに成長し続けるパブリックシアター」

[事業展開]

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで『幅広いニーズ』に恋える演目
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

[パブリックシアター] (3つの要素)

- ① 芸術監督、劇場経営のプロ
- ② 芸術創造集団オーケストラ
- ③ 本拠地となる舞台芸術劇場…ソフト・ハード体

[施設構成] \*地元企業(支援)による「ネーミングライツ」導入 \*H20.10月から導入 (H29.4月から4期目)



KOBELCO大ホール(2,001席)  
オペラ・音楽・バレエなど



阪急 中ホール(800席)  
演劇・ミュージカル・古典芸能など



神戸女学院 小ホール(417席)  
リサイタル・室内楽・ジャズなど

### 2 開館 (H17.10) から 13シーズンの成果

\*劇場への期待(評価)は年間の活動総体(公演単体ではなく)  
\*幅広い県民(ファン)の支持共感・賑わいを数値化

(基準 146) \*数値目標(年間): 300本・30万人・300日・30億

○ 年間イベント数 約800 (H29 主催等 391・貸館 327、各種事業 120 計 838) \*「日本」の証シデータ

・主催公演入場率 約90%、主催公演満足度 97%超 →ソフトへの支持・信頼

\*多彩で豊富なメニュー(選べる楽しみ)

○ 年間 公演入場者数 約50万人(来館者総数約80万人) \*われらが劇場

(H29 主催 382,668人・貸館 154,353人、普及イベント・ホール出演者・その他施設利用者等 248,851人 計 785,872人)

・開館12年のハイスピードで公演入場者数600万人を達成(H29.9)

高い県民比率(約70%)、熱心な支持者層の形成(10回以上の来場率58%超)と  
新しいファンの発掘(初めて来場10%超)

(基準 203日)

○ 年間ホール稼働日数 334日 (H29 施設稼働率 平均97.0%)

「安全安心」な施設運営→ハードへの信頼(施設利用満足度100%)(\*ホスピタリティ)

\*主催公演中心。施設利用は兵庫・関西のアーティスト・バレエ団・学校・合唱団・大学オーケ、吹奏楽など多彩



H27 開館10周年記念演奏会

○ 年間 経営規模 30億円 (基準 24.7億)

(H30 予算 事業費 16.3億、楽団費 7.0億、管理運営費 9.5億 計 32.8億)

・県「長期収支フレーム」により安定・継続的運営 \*専門家活躍の基盤(しくみ) \*ソフトの制度設計 \*説明責任  
芸文センター事業基金等(県予算): 16.0億・運営収入: 16.8億 (\*H30 振興会助成 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 70百万円)

○ 運営によってもたらされる大きな「経済波及効果(生産誘発効果)」(日本総研調査から) \*3回目(H27)

・年間効果額 県内 71億円(全国 149億円) [H22 調査 県内 71億円(全国 145億円)] \*県投資効果10倍データ  
開館後10年間の運営による累計(推計) 県内 687億円(全国 1,423億円)

(参考)「仮想評価法」による社会的便益(政策研究大学院大学教授 垣内恵美子氏による県民アンケート調査から)

・約58億円(年齢・所得修正値)[理由: 劇場の利用価値だけでなく、劇場の存在そのものや地域の魅力、後世に残す価値のような非利用価値が大きく評価されている]

○ 芸文センター会員登録数 6万人 (H30.2月現在 59,169人) “芸文センター市民”

・登録無料の会員制度(特典: 先行予約・会員ニュースの提供)

### 3 事業展開の特色

#### (1) 「佐渡裕」芸術監督企画によるプロデュースオペラ \*特色発揮(専属楽団・劇場があればこそ)

兵庫発のオペラプロジェクトとして、新しいオペラファン層を開拓し、全国的にも異例のロングラン公演を定着 \*同一会場同一演目8公演標準(2,000人の大ホール)(\*日本でここだけデータ)

計 14 作品 141 公演 入場者 255,212 人(リバイバル公演含む)	
H17 ハンゼルとグレーテル	H18 蝶々夫人
H19 魔 笛	H20 メリー・ウィドウ(12公演)
H21 カルメン(9+東京・愛知6公演)	H22 キャンディード(7+東京3公演)
H23 こうもり	H24 トスカ
H25 セビリヤの理髪師(8+県内4公演)	H26 コジ・ファン・トゥッテ
H27 椿姫(10公演)	H28 夏の夜の夢(6+特設2公演)
H29 フィガロの結婚(8+県内2公演)	H30 魔弾の射手



H29 フィガロの結婚



H30 魔弾の射手

H25「セビリヤの理髪師」初の県内4公演を実施(ネーミングライツ財源) \*全て完売(H29 2回目の県内公演) ハイライト・コンサート(ええとこどりシリーズ)を県内展開 H27 4公演 H28 4公演 H29 7公演 H30 7公演

#### ① オペラファンの裾野の拡大

- ・オペラ鑑賞の初心者から楽しめる親しみやすい演目選び
- ・低価格に抑えた入場料(戦略的な広報宣伝活動で、多回数の公演を実現し収入を確保)

#### ② 世界に通じるハイレベルなクオリティ(国内外第一級のクリエイティブスタッフと出演陣)

#### (2) 兵庫芸術文化センター管弦楽団(愛称 PACオケ) \*特色ある創造集団 \*アーティストインレジデンス

国内外からオーディションで結集した若手演奏家(コアメンバー48人 多国籍 35歳以下 3年更新)による、プロオーケストラとしては例のないアカデミー機能を有する「フレッシュでインターナショナルなオーケストラ」。多くのファンに支えられながらファンとともに育っている。\*進取・開放的な気風に支えられ

#### ① 定期演奏会 \*定期会員券(9回通し券)は4月発売 \*第100回記念演奏会(H29.10)

- ・古典名曲から現代音楽まで幅広いプログラム
- ・1シーズン9回 \*同一会場 同一プログラム各3公演 (\*国内プロオケ唯一データ)
- ・定期会員数: 4,405人、楽団事業平均公演入場率90%超

#### ② アカデミー機能 \*若いアーティストの挑戦・成長を地元の幅広いファンが応援

国内外の楽団に羽ばたく多くのコアメンバー(関西フィルコンマス、東響首席、ミュンヘン・フィル首席、ノルウェー国立歌劇場管 ほか)

#### ③ わくわくオーケストラ教室 \*将来世代への投資(専属楽団・劇場効果)

県内の中学1年生(全員)に本格的ホール・オーケストラ演奏に親しむ(体験学習)機会を提供

[年間40公演、H29: 386校 44,652人(保護者等を含む 48,836人)] ⇒小学校アウトリーチ(H29~)



第75回定期演奏会 マラー「復活」



わくわくオーケストラ教室

\*スーパーキッズオーケストラ(SKO)の活動: 佐渡芸術監督オーディションによる小学~高校生(弦楽合奏)

- ・8月合宿・アウトリーチ→東北・熊本・和歌山被災地訪問など→演奏会(大ホール)など多様な演奏活動展開

#### (3) 幅広いニーズに応える上演、質の高い様々な舞台芸術の提供

#### ① 多彩なジャンルで豊富な公演メニューを提供(500~60,000円)

- ・メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ポリショイ・バレエ、ロイヤルバレエなど世界トップ級の公演
- ・「特色あるシリーズ企画(世界音楽図鑑、古楽の愉しみ)」
- ・「低料金で良質な公演 プロムナードコンサート、ワンコインコンサート(平日昼間1h・大ホール) \*H28 松岡井菜(9'アキラ)神戸市出身、H29 常田麻衣(アジャット)尼崎市出身」、日本舞踊など「“はじめて”シリーズ(中ホール)」など多彩な展開
- ・地元人材・題材(地域資源)活用による古典芸能シリーズ



H18 メトロポリタン歌劇場「椿姫」

- ② 日本オペラプロジェクト H24「夕鶴」、H25「ちゃんちき」、H26「藤戸」、H27「天守物語」、H29「夕鶴」(再演) ※H28(H29.1~3)は大規模修繕のため休止
- ③ 兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト、世界から将来有望な人材を起用・活用
  - ・ドリーム・コンチェルト(H29 高嶋優羽(ヴァイオリン)西宮市出身、酒井有彩(ピアノ)神戸市出身)
- ④ 舞台芸術団体フェスティバル(県域団体)
- ⑤ 「県民創作公演」シリーズとして県民に創造活動の檜舞台を提供し、地域の文化力向上を支援
  - ・オペラ、ミュージカル、農村歌舞伎、人形浄瑠璃、兵庫五国の民俗芸能(H27.9)

#### 4 地域に愛され、親しまれる劇場の実現(普及イベント、地域連携・にぎわいづくり)

- ① バックステージツアー、公開リハーサルの継続展開など舞台芸術に触れる多様な機会の提供
- ② 地元商店街等により構成された「西北活性化協議会」など地域と連携したイベントの展開



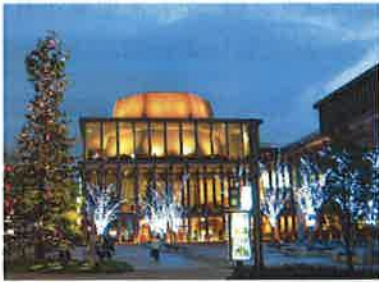
H27プロデュースオペラ「椿姫」前夜祭  
\*地域の『夏祭り』



H23 東日本大震災復興祈念活動(継続取組)



H28SKO復興祈念演奏活動  
「こころのびんが びんが びんが in くまもと」



クリスマスイルミネーション  
(西北一帯が暖かい光)



劇場のバースデーはみんなでお祝い



小学校音楽教室

- ③ ホスピタリティ発揮 地元タクシー運転手・駅員のみなさんと共に \*パートナー  
〔データ〕○ 全県展開(41市町): PAC公演、アウトリーチ等 延382回(H17~H30.3)  
○ 全国発信: 兵庫県除く36都道府県 延216回(H30.3)  
○ PACコアメンバー: 29ヵ国243人(H30.9)

#### 5 「大規模修繕工事」(H28実施 → H29.4 披露・感謝の催し: 演奏会・バックステージツアー)

開館10周年(H27: 支えていただいている多くのお客様・県民のみなさんと共に喜びを分かちあう)  
→ 類似施設に比べて高い稼働率(施設・主催公演・入場者等)維持、設備・施設の安全・安心、快適性を確保  
→ 音響・照明機器・舞台機構更新などの早期修繕、機能向上(時代のニーズ対応)のための修繕・改修を実施。

〔今後の課題〕 ①安全安心、安定継続ソフトの展開、②安定的財源と優れた人材の確保

- “成功のトライアングル” 芸術家・専門家 — 行政・劇場 — 県民・地域のコラボレーション。稀な成功例  
要因: 首長(知事の先頭に立つ姿勢)と地域定着(芸術監督の普及活動)と評されている

〔運営体制〕 館長: 井戸県知事 芸術監督: 佐渡裕(指揮者)  
事務局: 副館長 ゼネラルマネージャー ほか  
\*現場主義(権限・責任)・独立運営・説明責任→マイナスをプラスに転じる劇場経営

〔各種の受賞〕 地域創造大賞(総務大臣)・関西元気文化圏賞(ニューパワー・特別賞)・神戸新聞平和賞・貝原俊民賞 など

チケットを売り切る劇場◆



#### 〔環境へ配慮した施設〕

- ① 太陽光発電(屋上と建物西側側面に太陽光発電パネルを設置、建物で消費する電力エネルギーの節約に貢献)
- ② 屋上緑化(ヒートアイランド対策、来場者への癒やし空間を演出)
- ③ 雨水利用(雨水を地下の貯留槽に貯留し、濾過処理のうえ散水用水やトイレ洗浄水に有効利用)

# 芸術文化センタープロジェクトのあゆみ（立地等）



## 〔施設〕

- ・ 建築面積：10,530.53 m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積：33,144.92 m<sup>2</sup>

## ＜芸術文化センター開館(H17.10)＞

- ・ S63 第3回国民文化祭開催→H2 事業基金（創設）によるソフト先行事業開始（芸術監督 山崎正和：おにぎりと文化）
- ・ H14 佐渡芸術監督就任 \*劇場を街のみんなの広場に（裾野拡大）
- ・ 阪神・淡路大震災(H7.1.17)から10年、復興のシンボルとして被災地に県民の支持と共感に支えられ、県民と共に立ち上がった劇場=①人々の元気、②街の賑いの素



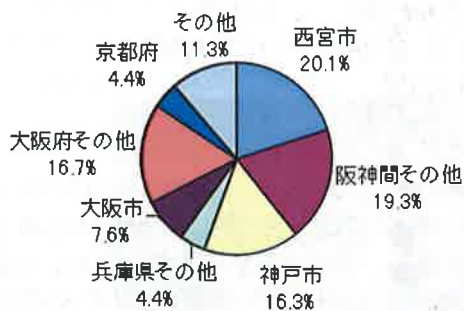
## ＜芸術文化センターのある街『にしきた』＞

- ・ センター開館直後、阪急西宮北口駅（最寄駅）乗降客が、月3万人以上増（→地域のポテンシャル向上）
- ・ 「地域振興の一翼」：①地元商店街がにぎわい（集客アップ）
- ・ ②新たにスポーツ施設や良質な住宅群が建ち、③劇場関連ショップや④「阪急西宮ガーデンズ」（大型ショッピングセンター）が新規オープン、⑤大学西宮キャンパス開設など（地域（県民）協働のリーディングプロジェクト）\*相乗効果
- ⇒ 関西住みたい街ランキングNo.1（不動産情報会社等各種調査）

- ・ 大都市（神戸と大阪）の間に位置する「西宮市」に立地
- ・ 西宮市 人口：約48万人 ・ 阪神地域（7市1町）人口：約176万人（\* 県庁所在地や政令指定都市ではない立地条件）

# 公演入場者プロフィール (H29) \* 特色

## ●居住地（会員登録データから）



### \* 観客構成は県民中心

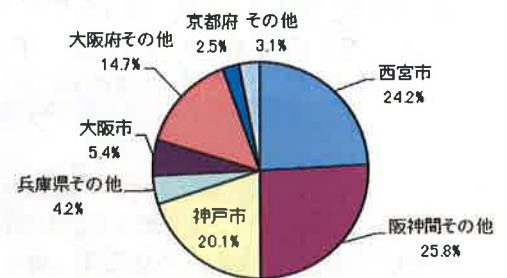
県内：60.0%、県外：40.0%

阪神地域：39.4%

（「西宮市」20.1%、「阪神間（6市1町）」19.3%）

神戸市：16.3%

## （楽団・定期会員（2017-18シーズン）データから）



\* 県内：74.3%、県外：25.7%

阪神地域：50.0%（西宮市 24.2%、阪神間 25.8%）

神戸市：20.1%

## ●芸術監督プロデュースオペラ鑑賞頻度（アンケート調査から）

### \* 「今回が初めて」（オペラ経験）

H18年「蝶々夫人」34.4%

（0~1回を含めると64.9%）

→ H29年「フィガロの結婚」12.2%

オペラファンの裾野が広がり、定着しつつある

## ●センター来場回数（アンケート調査から）



\* 開館12年目において、

①ファンの定着（約90%がリピーター）とともに、

②新たな舞台芸術ファンの発掘（初めて来場10.2%）が続く

\* ここ（芸文センター）に来るのが楽しみ、元気になる